

プロポーザル評価表

1. 業務名

2. 所属事務所

3. 方式

4. 選定通知日

5. 特定通知日
- 令和7年度 港湾施設被害度診断システム改良検討業務
名古屋港湾空港技術調査事務所
簡易公募型プロポーザル方式
－
令和7年7月24日

・同種業務：港湾施設の地震応答解析による耐震照査業務又は耐震設計業務					令和7年度 港湾施設被害度診断システム改良検討業務 ニュージェック・沿岸技術研究センター設計共同体
評価項目			要件	ウェート	
配置予定管理技術者の経験及び能力	資格要件	技術者資格	技術者資格について、下記の順位で評価する。 ①技術士(総合技術監理部門(建設－港湾及び空港)、建設部門(港湾及び空港))又は博士(工学又は学術)(但し、「学術」については「工学」に関連する研究分野に限る)を保有 ②RCCM(港湾及び空港部門)(港湾関係の実務経験が3年以上ある者とする)を保有 ③APECエンジニア(Civil、Structural又はIndustrial)、土木学会認定土木技術者(特別上級、上級又は1級)又は発注者が同等の能力と経験を有すると認めた者	15	15.00
	専門技術力	業務執行技術力	平成22年度以降公示日までに完了した同種又は類似業務の実績の有無について、下記の順位で評価する。 ① 同種業務の実績がある。 ② 類似業務の実績がある。	15	15.00
	専門技術力	業務執行技術力	令和4年度から令和6年度末までに完了した完了した全地方整備局、国土技術政策総合研究所及び沖縄総合事務局(いずれも港湾空港関係)発注業務の同じ業種区分(建設コンサルタント等)の請負業務成績評定点の平均点。	44	44.00
	専門技術力	業務執行技術力	令和3年度から令和5年度末までに完了した中部地方整備局(港湾空港関係)発注業務のうち、「建設コンサルタント等業務」において、優良業務技術者表彰および担当した業務の優良業務表彰の有無、「海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰制度」により認定・表彰された港湾空港関係の業務「建設コンサルタント等業務」における「海外インフラプロジェクト優秀技術者国土交通大臣賞」又は「海外インフラプロジェクト優秀技術者国土交通大臣奨励賞」の有無、または中部地方整備局(港湾空港関係)の災害協定等に基づく災害活動実績「建設コンサルタント等業務」に係る局長表彰(感謝状)又は事務所長表彰(感謝状)の有無。	6	0.00
					74.00
実施方針・実施フロー・工程表・その他			業務理解度	20	13.33
			実施フローの妥当性	20	12.00
			工程計画の妥当性	20	12.00
			その他	20	9.33
					46.67
特定テーマ 被災後の現地調査結果を踏まえたシステム機能を設計する上での着眼点と具体的な検討手法			業務目的との整合性	40	24.00
			着眼点、問題点、解決方法等の論理的整理・業務への有効性	40	32.00
			説得力	40	24.00
			提案内容の裏付け	40	24.00
					104.00
合 計					224.67